



初心を忘れずに終わりまで



国 籍	中国
職 種	紙器・段ボール箱製造
実習実施者	有限会社ソノダ
監 理 団 体	オービーシー協同組合

刘 莉
LIU LI

私は蝉が叫ぶいちばん楽しい時、花がいちばんあでやかな時に、日本に来ました。時間は「光陰矢のごとし」でもうそろそろ一年になります。

初めは誰も皆、美しい夢と希望を持ってきます。私も例外ではなくそのひとりです。

「視野を広げたい」「日本語をもっと理解したい」でも思っていたものとは違います。想像は美しく、現実残酷です。

会社に配属したばかりの頃は、仕事は覚えられない、スピードに追いつかない、言葉は理解できないと何もかもだめです。立って仕事をするので足は痛い、手はむくんで腫れる。毎朝起きたら、手を握ることができません。毎日しんどくて重苦しい気持ちが続きます。

深夜に自分で自分に問いかけます。私は何のために日本に来たのか？なぜ自分をこんなに疲れさせるのか？

以前私は「やってしまった後悔はだんだん小さくなるが、やらなかった後悔はどんどん大きくなる」と思いました。だから親が反対しても日本に来ることにしました。

日本に来て母としゃべった時に、母は言いました。「我慢は辛いことである。しかし最後の

果実は甘い」と。

それをきいて、自分で選んだ道だから自分を信じよう。最後まで持ちこたえようと思いました。しんどい時でもとにかく笑って頑張ろう。常に明るさを失わず努力する人には、神はちゃんと未来を準備してくれます。と思うことになりました。

中国の言葉で、「万事、初めが困難」というものがあります。また以前、松下幸之助先生の言葉を見ました。「成功している人は皆途中であまり道を変えていない」。

この二つの言葉から判ることは、いろんな困難があっても志を失わずに最後までやり遂げる人が概して成功しています。

私も自分の決断を信じて、最後まで日本で頑張りたいです。行きたいところへ遊びに行く、食べたことがないものを食べる、やったことがないことを試す、といろいろなことにチャレンジして元気いっぱい過ごしていきなさいです。

人生の中に夢があるのではなく、夢が人生を作るのです。

初心を忘れずにいれば、最後までやり抜くことができる信じています。